

【大動脈弁狭窄症】の【治療】のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお い

研究責任者 所属 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 職名 専任講師
氏名 川上途行
連絡先電話番号 03-5363-3833

実務責任者 所属 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 職名 専任講師
氏名 川上途行
連絡先電話番号 03-5363-3833

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、川上途行までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2013 年 1 月 1 日より 2017 年 3 月 31 日までの間に、循環器内科・心臓血管外科にて大動脈弁狭窄症の治療のため入院し、手術・カテーテル治療を受けた方

2 研究課題名

大動脈弁狭窄症治療後の嚥下障害と肺炎の割合に関するの後方視的解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室・慶應義塾大学病院リハビリテーション科

4 本研究の意義、目的、方法

大動脈弁狭窄症の患者に対しては、これまで外科的大動脈弁置換術が行われてきましたが、近年より低侵襲な治療法として経カテーテル的大動脈弁置換術が普及しています。しかし両治療法間で術後の嚥下機能や肺炎の発生率を比較した報告はまだありません。

本研究の目的は両治療法で治療後の嚥下障害や肺炎の発生率を調査・比較し、それらに影響を与える因子を検討することです。方法としては診療録より年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査データ、嚥下機能評価指標、術式、手術時間、術後の肺炎発生の有無などの情報を収集し、統計学的な解析を行います。

5 協力をお願いする内容

診療録・画像データ・血液検査データなどの閲覧をお許しいただければ幸いです。

6 本研究の実施期間

西暦 研究実施許可日（通知書発行日）～2019年12月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 川上途行

電話番号 03-5363-3833 keiourehab@gmail.com 平日9時より17時の間にご連絡下さい。

以上